「ギャンブル等依存症」に関するアンケート（全体調査）　リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

平成30年10月に施行された「ギャンブル等依存症対策基本法」に基づき、平成31年4月に策定された「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」においては、ギャンブル等依存症に関する関心と理解を深め、その予防を図ることが重要とされている。そうした中、大阪府民における、ギャンブル等依存症についての理解や、ギャンブル等を行うことによって起こる問題に対する認識を把握し、ギャンブル等依存症に関する取組みの方向性を検討するにあたり、本調査を実施する。

1. 調査（検証）項目

仮説　ギャンブル等の参加について、年齢・性別等の属性によって差がある。

1. 調査対象　国勢調査結果（平成2７年）に基づいた、性・年代・居住地（４地域）の割合で割り付けた、18歳以上の大阪府民1,000サンプル
2. 質問項目

予備質問　5問

SC1　年齢（NA）

　　SC2　性別（SA）

　　SC3　都道府県（SA）

SC4　市町村（SA）

SC5　職業（SA）

本質問　７問

　　Q1　過去1年間のギャンブル等への参加状況（SA）

Q2　ギャンブル等依存症の認知度（SA）

Q3　【ギャンブル等依存症を知っている人】ギャンブル等依存症を知った媒体（MA）

　　Q4　ギャンブル等依存症についての理解（MA）

Q5　ギャンブル等における困りごとに関して相談する相手（MA）

Q6　ギャンブル等依存症の相談窓口についての認知（MA）

Q7　【相談窓口を知っている人】相談窓口を知った媒体（MA）

1. 検証方法

仮説　（SC1、SC2）×Q1